



「五ヶ瀬中学校校歌より」

学 び 舎

五ヶ瀬中学校校長室だより
平成30年10月31日
No.6
文責：校長 戸敷 二郎



地区中学校秋季体育大会等結果



今年度の地区中学校秋季体育大会と地区駅伝競走大会が終わりましたので、その結果をお知らせいたします。陸上競技は今回から延岡市西階陸上競技場で延岡、日向、東臼杵、西臼杵4地区の合同開催となっています。

《男子バレーボール部》

(総当たりリーグ戦)

五ヶ瀬1-2日之影

五ヶ瀬0-2高千穂



《女子バレーボール部》

(総当たりリーグ戦)

五ヶ瀬2-0日之影

五ヶ瀬1-2高千穂

五ヶ瀬0-2田原



《軟式野球部》

(総当たりリーグ戦)

五ヶ瀬3-4日之影・上野・田原連合

五ヶ瀬5-3高千穂



《剣道部男女》

【男子個人戦】

2位 藤川劉之丞 (県大会)

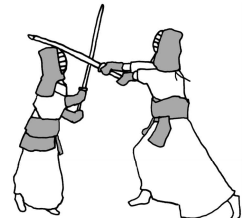
【女子個人戦】

優勝 甲斐鈴乃 (県大会)

4位 落合柊那 (県大会)

【女子団体戦】

2位 五ヶ瀬 (県大会)



《女子ソフトテニス部》

【団体戦】

(総当たりリーグ戦)

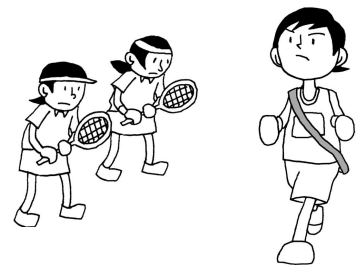
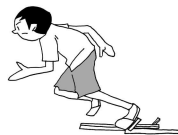
五ヶ瀬1-2日之影

五ヶ瀬3-0上野

五ヶ瀬1-2高千穂

【個人戦】

4位 西川未楽・井上瑞樹ペア (県大会)



《陸上競技》

共通女子1500m甲斐陽南子 1位 5'15"14 (県大会)

共通女子1500m甲斐 鈴乃 2位 5'29"91

2年男子3000m藤川劉之丞 1位 11'09"56

2年男子3000m廣永 祥真 2位 11'40"35 (県大会)

《駅伝競技》

男子1位 五ヶ瀬中等

2位 高千穂

3位 五ヶ瀬

女子1位 高千穂

2位 五ヶ瀬

3位 五ヶ瀬中等

[区間賞] 女子3区 興柁志織

女子4区 吉村愛加

夏休み中のことですが・・・

大清掃をしていただきました！

8月4日土曜日に、高千穂地区建設業協会青年部の皆様方にボランティア活動として本校の清掃活動をお願いしました。この活動は毎年夏に青年部の皆様で手分けをして各学校の清掃や補修工事などをしていただいているものです。今回は、写真にあるように私たちでは手が届かない3階の窓や壁などを掃除してもらいました。当日はとても暑い日でしたが、本当にありがとうございました。ご紹介して、お礼といたします。



お名前	所属先
竹尾英樹様(青年部長)	(株)竹尾組
鶴留章広様	高松佐藤建設
甲斐誠也様	(株)奈須建設
甲斐康哲様	(株)工藤興業
田崎学様	(有)光栄建設
飯干拓海様	(株)木下組
池田夏樹様	(有)丸水工業
山本恵様	(有)栄高産業

SNS等の利用

・ネット社会に生きる私たちの心構え

今月、NTTドコモの講師を招き、『家庭教育学級』として保護者・教職員向けの「スマホ・ケータイ安全教室」を開催いたしました。当日は小中学校の保護者の皆様、本校職員、小学校の先生方などたくさんの皆様に参加していただきました。

講話の内容はとても充実したもので、子供たちや私たち大人でも巻き込まれそうな事案を「再現ドラマ」などを使ってわかりやすく説明してもらいました。かなり勉強になる内容でしたが、一つ一つを詳しくお伝えできる紙面もありませんので、当日いただいた啓発パンフレットの中にあつた「かるた今昔」風の資料を一覧にしました。お読みいただき、子供との、また保護者同士の間での話題にさせていただきながら、これからの心構えを考えるきっかけにいただければと思います。

昔	今
<ul style="list-style-type: none"> ・ 堂々と面と向かってクチゲンカ ・ 無理だった友だち百人できるかな ・ つぶやきは周りの人には聞こえない ・ 冗談は笑ってゆるしてくださいね ・ 誰だって相手にしないトイレの落書き ・ 通帳と印鑑あれば「本人」証明 ・ テレビでは親に隠れてゲームはできず ・ 右を見て左を見てから道わたる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クチゲンカあらず相手顔見えず ・ 知らぬ間に友だち百人できちゃった ・ つぶやきが世界中に聞こえてる ・ 冗談は一切許さぬ炎上だ ・ 警察が逮捕するかもネットの落書き ・ IDとパスワードだけで「本人」偽装 ・ スマホでは親に隠れてゲームぜんまい ・ 前も見ずスマホを見ながら道わたる

いかがでしょうか？どれも笑ってはいられない、考えさせられるものばかりです。私たち大人が作り上げてきた現代社会の渦の中で、子供たちを犠牲者にしないためにもしっかりと私たち大人も学んでいきたいものです。



「エコーチェンバー現象」と「フィルターバブル」

なかなか耳慣れない2つの言葉を書きましたが、ずっと気になっていた現象が専門家によってちゃんとネーミングされ、啓発されていることを最近知りました。簡単にまとめましたので、これから皆さんと一緒に学んでいきたいと思ひます。

エコーチェンバー現象

- ・ エコーチェンバーとは、元々「共鳴室」を意味する言葉で、閉じた空間で音が響き渡るように設計された部屋のことです。SNSでは同年代同士や似た価値観の者同士がフォローし合ったり「友だち」になったりといったケースが多く、それがために同じような言説だけが耳に入り、それが真実であり正しいものと信じ込んでしまいがちです。このように閉じた関係性の中でコミュニケーションを繰り返す、特定の考えに凝り固まってしまう現象を指しています。

フィルターバブル

- ・ パソコンやスマホの検索サービスは、ユーザーの好みを過去の検索履歴などから分析して、情報や動画等をユーザーの関心が高いと思われるものから順に、次々と自動的に提供してきます。その結果、ユーザーが受け取る情報に偏りが生じ、自分自身が作り上げたフィルターにバブル（泡）のように包まれ、ほかの情報から切り離された状態になることを指しています。

今回ご紹介した2つの言葉。子供たちもさることながら、自由に通信機器を取り扱える私たち大人こそ注意しなければならないことだと感じます。人生を何十年か積み重ねてきた大人がこれらの状況に陥ってしまい、フェイクニュースなどの情報に翻弄（ほんろう）され問題になるご時世です。経験の少ない子供たちは、もっと危険な環境にさらされていると覚悟しなければなりません。

最近、世の中の子供たちのトラブルにつながっている「グループトーク」なども、同じ好みや価値観の者だけでコミュニケーションを取り合い、違う価値観や判断が入らなくなった状況（まさにエコーチェンバーの中）で起きている面もあると思ひます。

人類の長いコミュニケーションの歴史からすれば、わずかこの十数年の間に私たちの生活に入り込んできた携帯通信機器たちです。様々な課題を抱えながら改善の途上にあることを肝に銘じて過ごしたいものです。

